

日本ハング・パラグライディング連盟への質問状

2023年04月05日

神奈川県ハング・パラグライディング連盟

理事長 宮田 富由

TO:JHF 理事各位、教員スクール事業委員会各位

神奈川県ハング・パラグライディング連盟です。

2023年3月に行われた教員検定員検定会において参加者からいくつかの質問や要望がありました。上級タンDEM検定が実施されるようになった以降、参加者から少なからず検定会に対する不公平感などの不満が生じています。以下の質問および要望にたいしてJHFとしての回答をお願い致します。

回答については参加者および会員に周知するため公開可能な内容でお願い致します。

1. 検定でリフライトを行なった者がいると聞きます。どのような基準によりリフライトが許可されたのでしょうか？
これ以外にも検定でリフライトがありますか？
2. 検定会では課目ごとの採点表があります。当日の気象状況によっては難易度が変わるため判定基準も変わるとの説明があったそうですがその基準が明確になっていません。気象条件が一定ではないため必要な対応であることは理解できますが基準が曖昧では検定会参加者には採点への不信感が生じます。基準を変える場合は新たな基準を示して頂けないでしょうか？
3. 検定会参加者から検定員の模範フライトの要望があります。気象条件が悪かったり変化があったときに検定会参加者から要望があったときは検定員のダメーフライトをもって検定会を開催するに問題ない気象条件であること、また採点の判定基準に問題ないことを示して頂けないでしょうか？
4. 当日の実技フライトビデオ、また採点のために提出されたフライトビデオの公開を要望致します。実際フライトを見ることで検定会参加者が合否を納得するための材料になります。また検定会参加の教員の実技フライトは合格基準であれば模範フライトとなり不合格であれば改善点が明確になるため全フライヤの技術向上のための貴重な資料になります。フライトビデオの公開をお願い致します。また公開できない場合はその理由を教えてください。

以上、お手数ですがご回答お願い致します